

日本歯周病学会第6回東北地区(青森)臨床研修会 開催報告

主催：特定非営利活動法人 日本歯周病学会
共催：一般社団法人 青森県歯科医師会
大会長：福士 賢治（一般社団法人 青森県歯科医師会会長）
実行委員長：齋藤 淳（東京歯科大学歯周病学講座教授）
運営事務局：東京歯科大学歯周病学講座内(担当：勢島 典)
日時：令和6年9月28日（土曜日）14：00～18：10
会場：青森県歯科医師会館

メインテーマ：「歯周治療をゴールに導く」

プログラム

- ・教育講演Ⅰ「歯周治療の基本と関連背景のアップデート」
新潟大学大学院医歯学総合研究科歯周診断・再建学分野 教授 多部田 康一
- ・歯科衛生士教育講演「歯科衛生士の臨床を科学する：歯科衛生ケアプロセス」
東京歯科大学歯周病学講座 教授 齋藤 淳
- ・教育講演Ⅱ「FGF-2製剤を用いた歯周組織再生－日常臨床にどう取り入れるか？－」
東京歯科大学歯周病学講座 講師 今村 健太郎
- ・教育講演Ⅲ「歯周病患者へのインプラント治療の考え方」
医療法人審美会梅原歯科医院理事長 梅原一浩

令和6年9月28日、青森市において日本歯周病学会第6回東北地区臨床研修会を開催いたしました。この時期としては、残暑が厳しい秋晴れの日に行われました。

本臨床研修会は、「各地域の歯周病の予防ならびにその治療の向上を通じて国民の口腔保健に寄与する」目的を達成するための学会活動の一つとして、歯周病学・歯周治療学に関する新しい情報や技術、ガイドラインに沿った治療の啓発を行うため、全国各地にて開催されてきました。今回は青森県歯科医師会との共催事業として開催され、福士賢治 青森県歯科医師会会長、伊藤真 学術担当常務理事をはじめとした同会執行部各位、事務職員の方々の多大なご協力により、滞りなく準備・運営を行うことができました。研修会当日は青森県内のみならず、東北近県および関東、甲信越地区からも参加をいただき、歯科医師39名、歯科衛生士10名、計49名のご参加をいただきました。

今回の臨床研修会は「歯周治療をゴールに導く」をメインテーマとし、歯周基本治療から歯周組織再生療法そしてインプラント治療に至るまで、一連の治療の基本的知識をアップデートする機会として、4名の先生方にご講演をいただきました。

当日は、大会長である福士賢治青森県歯科医師会会長、沼部幸博日本歯周病学会理事長および齋藤淳実行委員長による開会挨拶に始まりました。多部田康一先生の教育講演Ⅰでは、「歯周治療の基本と関連背景のアップデート」と題して、歯周病の病因論や診断に関連する昨今の状況について説明がなされ、歯周基本治療にて押さえるべきポイントの確認と解説がありました。齋藤淳先生は歯科衛生士教育講演「歯科衛生士の臨床を科学する：歯科衛生ケアプロセス」と題して、歯科衛生ケアプロセスの基本的な考え方、臨床応用について講演されました。歯科衛生士との協働のありかたについて解説がなされ専門性の向上について示唆に富む内容でした。教育講演Ⅱでは今村健太郎先生より「FGF-2製剤を用いた歯周組織再生－日常臨床にどう取り入れるか？－」と題して歯周組織再生療法について講演がなされました。基本治療の重要性、そして切開を行う上での注意点、再生療法を成功に導くためのポイントについて解説がなされました。教育講演Ⅲでは、梅原一浩先生から「歯周病患者へのインプラント治療の考え方」と題する講演がなされました。日本歯周病学会、日本口腔インプラント学会のガイドラインに基づき、歯周病を有する患者にインプラント治療を行

う上でのポイント、インプラント治療後のメンテナンスも含め示唆に富んだ講演内容でした。最後に、臨床研修委員会委員長である多部田康一先生の閉会挨拶により、盛会のうちに幕を閉じました。

ご参加くださった先生方、協賛いただきました企業各社様、また青森県歯科医師会をはじめ本研修会に関係いただいたすべての方々に心より感謝申し上げます（臨床研修委員会委員 勢島 典）。

